

NEWS RELEASE

小学館
SHOGAKUKAN

2010年11月17日

紙の書籍と
電子書籍の
同時発売！

キャリア vs 結婚願望 私が一番欲しいものって、なんだろう。

Sowelu の主題歌入り・新感覚恋愛小説

LiLy 著『こぼれそうな唇』

2010年11月20日(土) iPhone/iPad アプリ発売！

株式会社小学館（東京都千代田区、代表取締役社長：相賀昌宏）は、2010年11月20日（土）、作家・エッセイストのLiLy（リリー）による11月18日（木）刊行の新刊単行本『こぼれそうな唇』の電子書籍版を、iPhone/iPad向け電子書籍アプリ（ユニバーサル版）としてAppStoreにて発売いたします。アプリは価格1,000円で、アーティストSowelu（ソエル）が歌う主題歌『こぼれそうな唇 feat. Mummy-D (RHYMESTER)』と、著者からのメッセージ動画を収録しています。

また同時に、2007年12月に発売され累計3万部を越すヒットとなったLiLyによる既刊単行本『11センチのピンヒール』を、iPhone/iPad向け電子書籍アプリ（ユニバーサル版）として発売いたします。価格は800円。



著者のLiLyは、1981年生まれの29歳。ウェブ上での連載を多く持ち、公式ウェブサイトの他にブログやツイッターも積極的に活用している、デジタルに関して非常にモチベーションが高い作家です。ブログには若い女性の支持者が集まっており、ツイッターは2009年12月開設以来フォロワーが約8,000名に。作家と読者、読者同士で盛んなコミュニケーションが行われています。本作も、小学館の女性誌総合サイト「FAnet（ファネット）」での1年半の連載を経て、この度、単行本としてまとめられました。またLiLyは電子出版にも意欲的で、深い興味を持っており、今回の電子書籍に主題歌をつけるコラボレーションも本人の発案です。

小学館では、LiLyを同世代女性からの人気が高く、書籍の売れ行きも好調、電子書籍と相性の良い次世代を担う作家と捉え、本作を小学館初の文芸アプリとして発売することと致しました。

【著者】

◆LiLy（リリー）



1981年生まれ。NY、フロリダでのアメリカ生活を経て、上智大学外国語学部卒業。著書に小説『11センチのピンヒール』『パープルレイン』『空とシュウ』（ともに小学館）、20代女性独特の恋愛観、セックス観を描いたエッセイ『さいごのおとこ』『タバコ片手におとこのはなし』（ともに講談社）、夢を叶えるまでの7年間を綴った『Tokyo Dream』（幻冬舎）など多数。最近では作詞など積極的に活躍の幅を広げている。実生活では一児の母でもあり、育児と仕事の両立を模索中。

☆ウェブサイト… <http://www.lilylilylily.com>

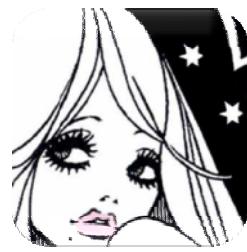
☆ブログ… <http://lilylilylily.jugem.jp>

☆ツイッター… @LiLyLiLyLiLycom

こぼれそうな唇

【アプリ概要】

- ◆アプリ名： こぼれそうな唇
- ◆種別： iPhone/iPad アプリ（ユニバーサル版）
- ◆価格： 1,000 円
- ◆AppStore カテゴリー： ブック



【ストーリー】

結婚願望 vs. キャリア。“お嫁さん”になることを夢みる、短大1年生のエミリ。人気スタイリストのアシstantで、キャリア志向の彩。タイプの異なるふたりの女のあいだで、揺れる孝太。本当に伝えたいことを呑み込んで、唇をかみしめるたびに、すれ違ってゆく。

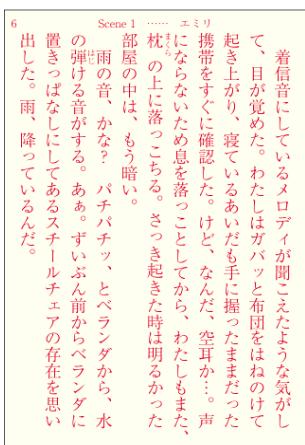
章ごとに主人公が入れ代わり、三人それぞれの視点から綴る、長編恋愛小説。

【アプリの特長】

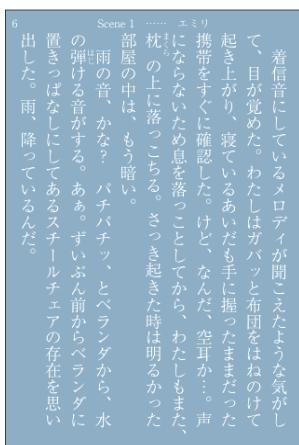
- ◆iPhoneにもiPadにも対応したユニバーサル版アプリです。お持ちのデバイスに合わせて、表示が最適化されます。
- ◆背景と文字色の組み合わせ、スライダーアイコンのデザインを、ユーザー側でお選び頂けます。文字色はブラックに加え、ホットピンク、ストロベリーレッド、ミッドナイトブルーなど、LiLy好みの12種類。スライダーアイコンはラインストーン、パール、ハートなど8種類。読むときの気分や、好みに合わせたカラーリングで、LiLyワールドを存分にお楽しみください。 [画像 A-C]
- ◆特別付録①：文芸作品に主題歌がつきました。艶のある歌声と表現力で注目の女性シンガーSowelu（ソエル）が歌い、LiLyが作詞した本作の主題歌『こぼれそうな唇 feat. Mummy-D (RHYMESTER)』を、アルバム発売に先駆けて、1曲まるごと収録。書籍と音楽を合わせることで、よりその世界観に酔っていただけます！（本曲は、2010年12月1日リリース予定のSoweluのアルバム『Love&I.～恋愛遍歴～』に収録されます） [画像 D]
- ◆特別付録②：著者からの動画メッセージムービーが付いています。 [画像 E]
- ◆アプリ内から、本作の特設サイトへのリンクがあります。（購入特典プレゼントあります！）
- ◆文字組みの美しさに定評のある、モリサワの電子書籍ソリューション「MCBook」を採用。モリサワフォントと組版エンジンを充分に活用し、さらに本作の読者属性に合わせて背景や文字色、スライダーアイコンのカスタマイズを行いました。

【アプリ画面】 ※画面は iPhone サイズです

[画像 A] 文字色の一例：
ストロベリーレッド



[画像 B] 文字色の一例：
ミッドナイトブルー



[画像 C] スライダーアイコンの一例：パール



左：[画像 D] テーマ曲を提供したシンガー、Sowelu



下：[画像 E] 動画メッセージは、LiLyが執筆している書斎にて撮影



11 センチのピンヒール

【アプリ概要】

- ◆アプリ名：11センチのピンヒール
- ◆種別：iPhone/iPad アプリ（ユニバーサル版）
- ◆価格：800円
- ◆AppStore カテゴリー：ブック



【ストーリー】

仕事も恋もおしゃれも、3両立した女だけがクールって言われる。私だってカッコイイ女と言われたい……、渋谷109のショップ店員のリコは、24歳。女友達に些細な見栄をはることで、積み重なっていく小さな嘘。ブランド品を買うことでどんどん増えていく借金。ついに精神的にも経済的にも破滅寸前のとき、リコは、恋愛対象にさえならないはずの男子高校生タカノと出会い、惹かれていく……。2007年に刊行後、ベストセラーとなったLiLyの処女小説が、ついに電子書籍アプリに！

【アプリの特長】

- ◆iPhoneにもiPadにも対応したユニバーサル版アプリです。お持ちのデバイスに合わせて、表示が最適化されます。
- ◆背景と文字色の組み合わせ、スライダーアイコンのデザインを、ユーザー側でお選び頂けます（「こぼれそうな唇」と同様）。読むときの気分や、好みに合わせたカラーリングで、LiLyワールドを存分にお楽しみください。
- ◆文字組みの美しさに定評のある、モリサワの電子書籍ソリューション「MCBook」を採用。モリサワフォントと組版エンジンを充分に活用し、さらに本作の読者属性に合わせて背景や文字色、スライダーアイコンのカスタマイズを行いました。

【書籍紹介】



『こぼれそうな唇』

LiLy 著

定価：1,365円（税込）

版型：四六判・258ページ

発売日：

2010年11月18日予定

（最新刊）

発行：小学館



『11センチのピンヒール』

LiLy 著

定価：1,260円（税込）

版型：四六判・194ページ

発売日：2007年11月26日

累計発行部数：約3万部

発行：小学館

【特設サイト】

★「こぼれそうな唇」特設サイト（Fanet）★

http://fanet.jp/novels/lily_lips/

【小学館の電子書籍】

弊社は1996年頃からコンテンツの電子化に積極的に取り組んでおり、1998年には電子書籍コンソーシアムの発足に参画。現在、電子書店向けに1,000タイトル以上の文芸・ライトノベル作品、1,500タイトル以上のコミック作品を配信しております。

また弊社は2008年11月からAppStoreでのiPhoneアプリの販売を開始し、現在はフラッグシップモデルとなる国語辞典アプリ『デジタル大辞泉（2,000円iPhone/iPadで使用できるユニバーサル版）』を中心に、20タイトル以上のアプリをリリースしています。

辞書アプリ『日中・中日辞典（4,100円）』、実用アプリ『家庭医学館 for iPhone（1,200円）』、コミックアプリ『ドラえもん イングリッシュ・コミックス（350円）』『少年サンダー（無料・アプリ内でコミックスを販売）』、占いアプリ『くるりんぱ性格診断（115円）』など、出版で培った幅広いコンテンツをもとに、多彩なジャンルのアプリを展開しています。

この度リリースする『こぼれそうな唇』は、AppStoreで販売する「iPhone/iPadで読める文芸ジャンルのアプリ」としては、弊社で初の作品となります。



[小学館iPhoneアプリ 公式サイト] <http://iapp.shogakukan.co.jp/>

または [小学館 アプリ] で検索

【お問い合わせ先】

・本アプリに関するお問い合わせ

小学館 ネット戦略室／ 槙田美規 03-3230-9379 miquim25@shogakukan.co.jp

・著者に関するお問い合わせ／

小学館「FAnet（ファネット）」編集室 鬼澤美佳 03-3230-5608 miika@fanet.jp